

平成 28 年度

事業報告及び法人会計収支計算書



社会福祉法人 四万十市社会福祉協議会

もくじ

①	平成 28 年度事業報告	1 頁
②	// 事業報告付属明細書	25 頁
③	// 財務諸表に対する注記（法人会計）	26 頁
④	// 資金収支計算書（第 1 号の 1 様式）	28 頁
⑤	// 資金収支内訳表（第 1 号の 3 様式）	31 頁
⑥	// 法人拠点区分資金収支明細書（別紙 3(⑩)）	35 頁
⑦	// 事業活動計算書（第 2 号の 1 様式）	38 頁
⑧	// 事業活動内訳表（第 2 号の 2 様式）	42 頁
⑨	// 法人拠点区分事業活動明細書（別紙 3(⑪)）	46 頁
⑩	// 貸借対照表（第 3 号の 1 様式）	48 頁
⑪	// 貸借対照表内訳表（第 3 号の 2 様式）	49 頁
⑫	// 財産目録（別紙 4）	51 頁
⑬	// 監事監査報告書	52 頁

①地域福祉の推進とボランティア活動の充実

地域福祉活動事業(地域福祉活動事業サービス区分)

〈市受託金決算額 7,824,169円〉〈職員2名(1名は他業務と兼務)〉

介護保険制度改正に伴い、新しい総合事業へ移行し、高齢者の介護予防と生活支援の体制整備に向けた活動を進めている。平成28年度は、地域資源情報の見える化に向けて「四万十市高齢者在宅生活ガイドブック」を発行し既存の地域資源を把握し情報の周知に努めた。また、地区健康福祉委員会の介護予防活動の充実・強化を目的とした「介護予防リーダー養成講座」や多様な訪問型サービスの開発に向けた「いきいき生活応援隊員養成講座」の2つの養成講座を開催した。今後は、養成した人材や元気な高齢者がサービス等の担い手として活動する場の確保を行っていく。多様な機関の情報交換・政策形成の場として位置づけられている「四万十市生活支援等サービス体制整備推進会議」も定着しつつあり、多様な機関との連携・協働を通して取組みを充実させていきたい。

件数	内容	備考
132	事業説明会・学習会の調整・地区役員宅の訪問及び来所・調整他	4地区で健康福祉委員会設立
46	健康体操・レクリエーションの導入、講話他	
42	事業所聞き取り・調整他	高齢者在宅生活ガイドブック発行
22	地域ケア会議・あったかふれあいセンター運営推進会議・調整他	
70	行政や各事業所との打合せ会議や意見交換会・調整他	
8	出張・研修他	
320	合計	

主な活動

年	月	日	場所	内容	備考	
28	4	25	市役所	第1回四万十市生活支援等サービス体制整備推進会議		
	6	24	安並武道館	第2回四万十市生活支援等サービス体制整備推進会議		
	6	29	藤岡集会所	西富山・藤岡地区健康福祉委員会意見交換会		
	6	30	大用集会所	東富山地区健康福祉委員会意見交換会		
	7	26	JA中村北部出張所	後川地区健康福祉委員会意見交換会		
	7	28	間崎集会所	八東地区健康福祉委員会意見交換会		
	8	30	串江集会所	下田地区健康福祉委員会意見交換会		
	8	31	安並武道館	東山地区健康福祉委員会意見交換会		
	9	26	カヌー館	大川筋地区健康福祉委員会意見交換会		
	9	29	JA高知はた西部事業所	東中筋地区健康福祉委員会意見交換会		
29	9	29	JA高知はた西部事業所	中筋地区健康福祉委員会意見交換会		
	10	4	保健センター	西土佐地域健康福祉委員会意見交換会		
	10	12	公民館	介護予防リーダー養成講座(中村会場)	72名修了	
	10	13	保健センター	介護予防リーダー養成講座(西土佐会場)	20名修了	
	11	15	防災センター	いきいき生活応援隊員養成講座(1日目)		
	11	16	防災センター	いきいき生活応援隊員養成講座(2日目)		
	12	19	社会福祉センター	中村地区健康福祉委員会意見交換会		
	2	24	市役所	第3回四万十市生活支援等サービス体制整備推進会議		
						27名修了

①地域福祉の推進とボランティア活動の充実

地域福祉活動事業（地域福祉活動事業サービス区分）

高齢者閉じこもり等予防支援業務事業（地域福祉活動事業サービス区分）

<職員1名⇒臨時1名>

《市受託金決算額 4,115,248円》

平成28年度より新たな受託事業として、閉じこもり等なんらかの支援が必要な高齢者を効果的かつ有効な方法で早期に把握し、住民全体の介護予防活動等へ繋ぐことで、要介護状態に陥ることを防ぐ目的として取り組んできた。事業内容・目的を知ってもらうため、各関係機関や民生委員、健康福祉委員会を訪問し事業説明や情報収集に努めた。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
個別訪問件数	149				
他機関への繋ぎ等件数	56				
個別訪問終了件数	48				
事業説明・聞き取り等訪問件数	65				
定期閉じこもり報告会等(回)	11				
個別ケース検討会(回)	5				
緊急通報装置撤去作業件数	9				

①地域福祉の推進とボランティア活動の充実

地域福祉の推進(法人運営及び共同募金配分金サービス区分)

《福祉活動事業 会費収入 42,948円 共同募金配分金 100,000円 決算額 142,948円》

第37回を迎えた西土佐地域社会福祉大会では、「笑顔で福がやってくる」と題した講演と、多くのアトラクションで350名が有意義な時間を過ごすことができた。

健康福祉地域推進事業では、各地域に出向き、介護予防のレクリエーションや、健康づくり事業での「熱中症」「認知症」等の学習会に協力した。

ボランティアセンターの機能として、各福祉施設や小学校、地域からの要請に応え、ボランティア団体やすらぎの会を中心にボランティアを派遣した。

生きがい教室については、各教室共に参加者の高齢化や減少に伴い、それぞれの教室が来年度からの活動の方向性を再三話し合いながらの一年だった。

編み物教室が講師の健康上の問題から平成28年度で閉鎖となり、秋桜クラブは単独での実施は困難となり、市老連主催の3B体操と合同で実施することとなった。手話教室は自主的なサークル活動として月1回の活動が続けることになり、川柳教室については本年度から自主的活動へ移行した。

・ボランティア団体支援
JAこだま会 やすらぎの会

・サークル活動支援
要約筆記サークル赤とんぼ

事業名	内 容		場 所		回 数		延 べ 人 数		備 考	
	講演会	アトラクション	ふれあいホール	ふれあいホール	1回	350名	11/13開催			
西土佐地域社会福祉大会										

健康福祉地域推進事業に協力	支え合いの地域づくり、介護予防事業に協	地域の集会所	62回	821名	21地区に協力 実日数56日
---------------	---------------------	--------	-----	------	-------------------

訪問活動	相談業務等に 関連し訪問	西土佐地域内	17回	20名	
------	-----------------	--------	-----	-----	--

ボランティアセンター機能	読み聞かせ 話し相手 織いもの カラオケ 防災頭巾作り 24時間テレビ 行事に協力 ベッド柵カバー作り その他	西土佐小学校 デイサービスセンター かわせみ ケアハウス・紡ぎの家 口屋内・大用 道の駅よつて西土佐 ふれあいホール・かわせみ 口屋内 福祉施設等	16回 21回 10回 47回 2回 1回 4回 1回 6回	86名 39名 20名 75名 7名 4名 29名 10名 12名	
ボランティア活動	合計		108回	282名	

生きがい教室	秋桜クラブ 編み物教室 手話教室 川柳教室	ふれあいホール 福祉センタ 福祉センタ ふれあいホール	11回 12回 10回 33回	96名 76名 40名 212名	
	合計				

車いす貸し出し	短期使用者に貸出	西土佐地域内		5件	
---------	----------	--------	--	----	--

①地域福祉の推進とボランティア活動の充実
法人運営（法人運営サービス区分）

西土佐支所において、行ってきた事業及び各種団体等の会議等の状況は、以下のとおりです。

月	日	曜	開催名称	場所
4	7	木	やすらぎの役員会	福祉センター
	21	木	こだま会総会	JA西土佐支所
	22	金	やすらぎの会総会	福祉センター
5	9	月	防災頭巾づくり	口屋内サテライト
	20	金	西土佐中学校和太鼓指導	ふれあいホール
	25	水	西土佐中学校和太鼓指導	ふれあいホール
	31	火	西土佐中学校和太鼓指導	ふれあいホール
	7	火	西土佐中学校和太鼓指導	ふれあいホール
6	14	火	西土佐中学校和太鼓指導	ふれあいホール
	21	火	西土佐中学校和太鼓指導	ふれあいホール
	23	木	防災頭巾づくり	大用集会所
	1	金	西土佐中学校和太鼓指導	ふれあいホール
	6	水	社会福祉大会実行委員会	福祉センター
7	8	金	開かれた学校づくり推進委員会	西土佐中学校
	11	月	青少年育成西土佐会議	ふれあいホール
	12	火	西土佐中学校和太鼓指導	ふれあいホール
	14	木	24時間テレビ実行委員会	かわせみ
	19	火	西土佐中学校和太鼓指導	ふれあいホール
	25	月	西土佐中学校和太鼓指導	ふれあいホール
8	4	木	サロン講師	黒潮町浜の宮
	8	月	24時間テレビ実行委員会	かわせみ
	16	火	24時間テレビTシャツ仕分け協力	デイサービスセンター
	18	木	青少年育成西土佐会議夜間パトロール	江川方面
	28	日	24時間テレビ募金活動	道の駅よって西土佐
	8	木	やすらぎの役員会	福祉センター
9	15	木	西土佐中学校和太鼓指導	ふれあいホール
	21	水	西土佐中学校和太鼓指導	ふれあいホール
	23	金	かわせみ敬老会	かわせみ
	26	月	西土佐中学校和太鼓指導	ふれあいホール
	29	木	認知症家族会との交流会	福祉センター
29	木	交流会反省会と意見交換会	福祉センター	
30	金	いちいの郷運営推進会議	旧大宮保育所	

月	日	曜	開催名称	場所
10	1	土	共同募金街頭募金	道の駅よって西土佐
	3	月	共同募金街頭募金	西土佐総合支所
	4	火	健康福祉委員会連絡会	保健センター
	7	金	西土佐中学校和太鼓指導	ふれあいホール
11	13	木	西土佐中学校和太鼓指導	ふれあいホール
	19	水	福祉関係者会議	かわせみ
	19	水	共同募金特別募金	西土佐内
	19	水	西土佐中学校和太鼓指導	ふれあいホール
	4	金	西土佐中学校和太鼓指導	ふれあいホール
12	8	火	西土佐中学校和太鼓指導	ふれあいホール
	13	日	西土佐地域社会福祉大会	ふれあいホール
	16	水	クレヨンの箱(福祉関係者会議)	かわせみ
	17	木	ボランティア交流会	四万十楽舎
	5	月	社会福祉大会反省会	福祉センター
2	16	金	じんけんフェスティバル実行委員会	ふれあいホール
	5	日	西土佐地域じんけんフェスティバル	ふれあいホール
	15	水	クレヨンの箱(福祉関係者会議)	かわせみ
	22	水	かわせみ長寿の祝い	かわせみ
3	7	火	いちいの郷運営推進会議	福祉センター
	9	木	やすらぎの役員会	福祉センター
	15	水	クレヨンの箱(福祉関係者会議)	保健センター
	16	木	じんけんフェスティバル実行委員会反省会	ふれあいホール

①地域福祉の推進とボランティア活動の充実

中村地域配食サービス事業 (共同募金事業サービス区分)

〈パート1名 調理ボランティア10名 配食ボランティア15名〉

《会費収入 179,217円 市補助金 247,000円 共同募金配分金 1,410,000円 利用者負担額 1,032,750円 決算額 2,868,967円》

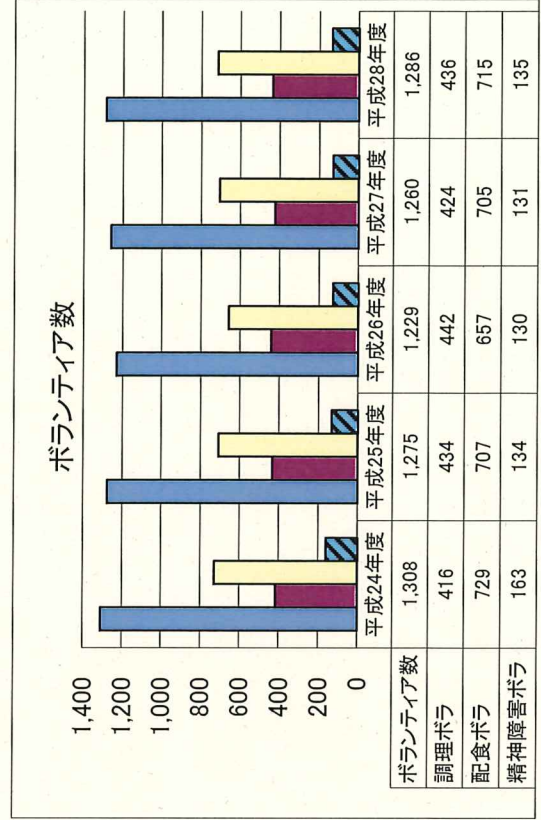
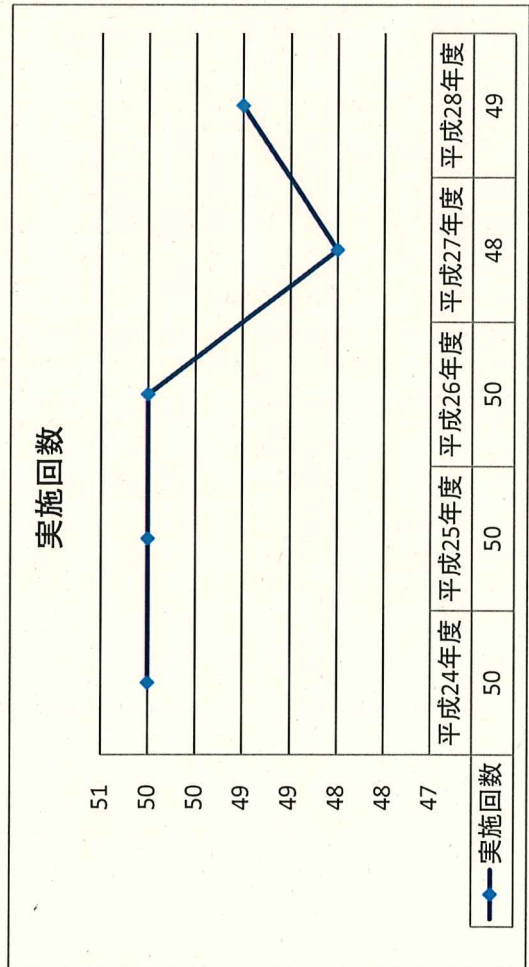
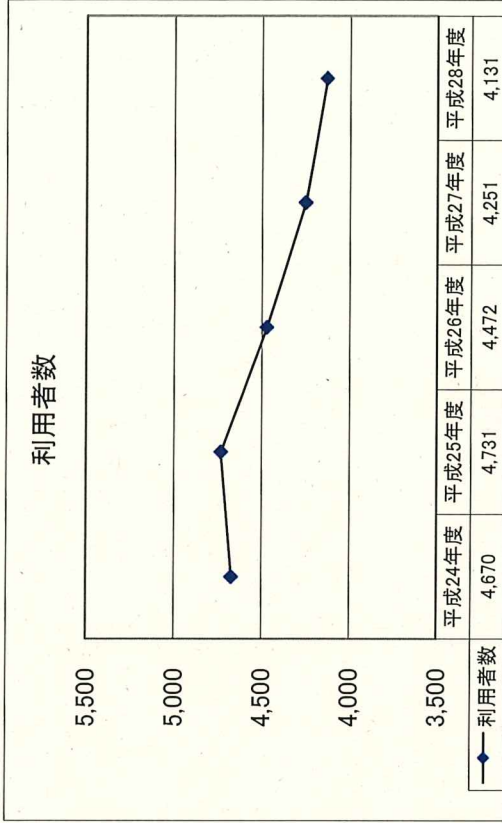
75歳以上の在宅の一人暮らしの高齢者や重度の障害者世帯に対し、毎週水曜日にボランティアの協力を得て、安否確認を目的に配食サービスを実施している。

民生委員を中心に配食のボランティアは確保できているが、調理ボランティア不足が顕著な状況で、広報で参加を募るとともに、特定の方に重複参加を依頼し対応している状況である。

H28年度3月末の登録者114名、1回の平均利用者は84.3名であった。傾向として、通院や福祉サービスの利用で単発的に利用を控えられる方が多くなっている。

配食サービス運営委員会 9/6 運営委員 5名 事務局 1名

委員会においては消費税の据置きにより、利用料金を従来通りと検討されたが、予算案作成において財源の確保が難しく各委員の了承を得、平成29年4月より250円から50円アップして300円となる。



①地域福祉の推進とボランティア活動の充実

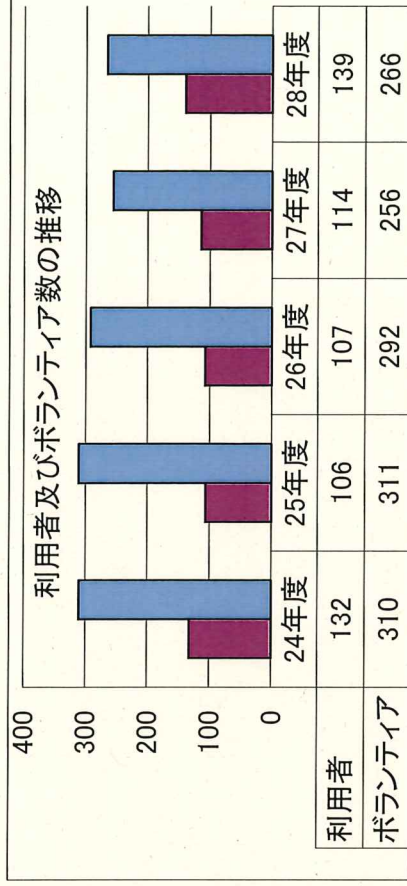
障害者等サービス事業(共同募金事業サービス区分)

《 共同募金配分金事業決算額 73,828 円 》

朗読サービス事業

朗読ボランティアの協力により、情報不足になりがちな視覚に障害のある方々等に、毎月市広報・社協だよりを今年度よりCDに録音して送付し、日常生活に必要な情報の共有を図った。

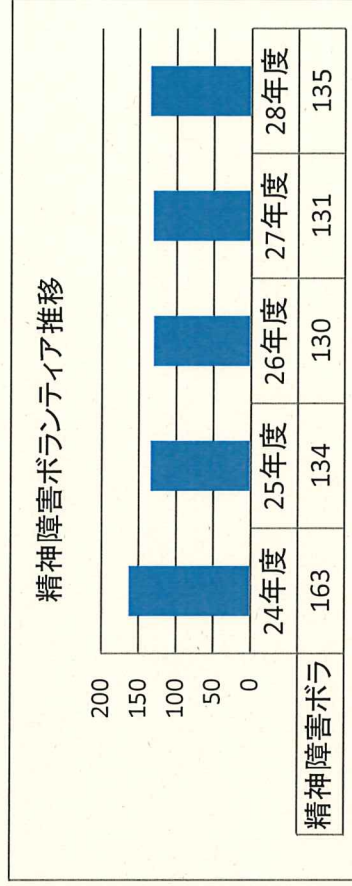
尚、今年度は社協だよりなどで呼びかけを行った結果、1名の利用者の申し込みがあり、利用者延べ人数が微増となった。



精神障害者社会参加事業

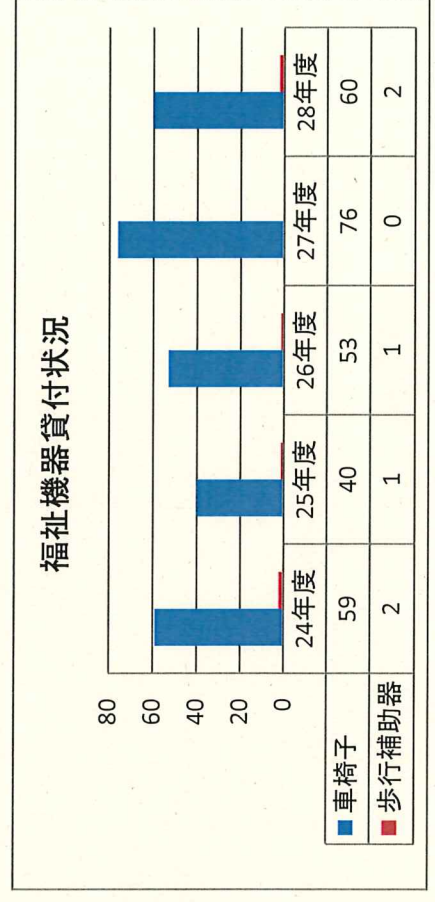
精神障害者の社会参加を目的に、配食サービス事業のお弁当の配達を行い、社会参加のきっかけ作りとしている。当事者の体調等により変化があるので、職員がサポートをしながら行った。

(配食サービス事業でも再掲)



福祉機器貸付事業

身体機能の低下した障害者や高齢者等の生活支援の為、車椅子等を一定期間無料で貸し出し、日常生活の利便を図り、生活の質の向上と併せて介護者の負担軽減に努めた。



①地域福祉の推進とボランティア活動の充実

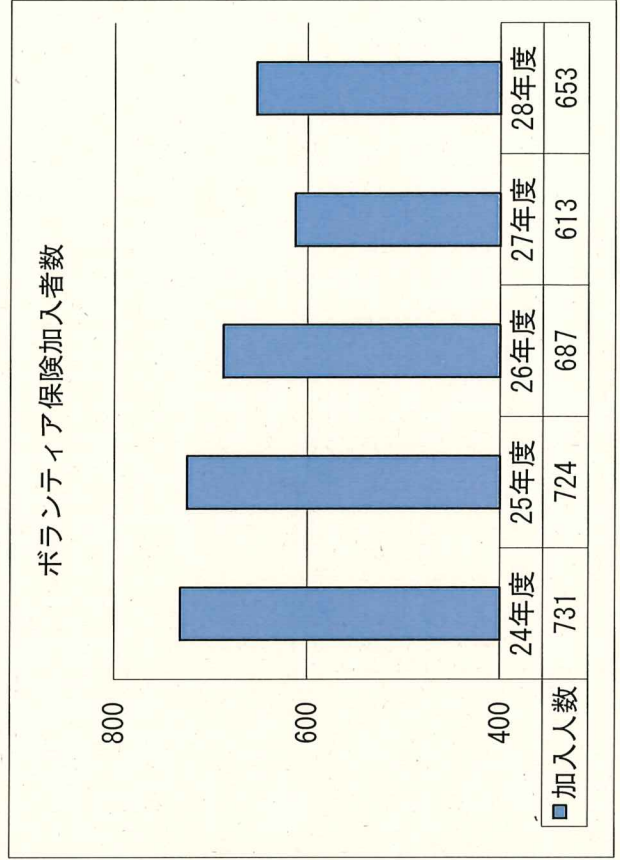
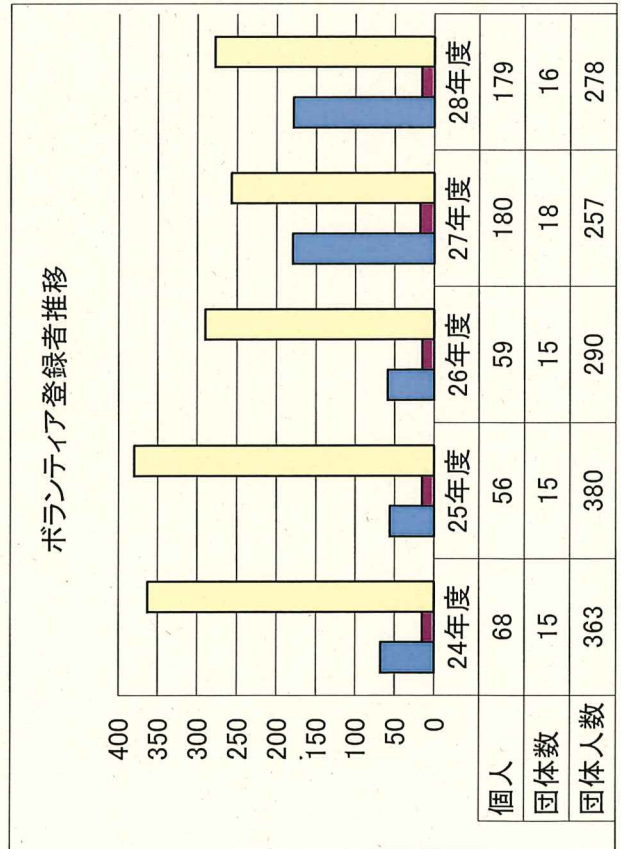
ボランティアセンター事業(ボランティア活動事業サービズ区分) 《職員1名》

《 市補助金収入 6,555,000円 会費収入 120,000円 共同募金配分金 330,000円 市受託金収入 354,625円 福祉基金取崩 200,000円 他 決算額 7,770,586円 》

ボランティアセンターでは、昨年傾聴ボランティア養成講座を受講者した方と定期的な勉強会を重ねながら施設訪問し、傾聴ボランティアが活動できる知識の習得や体制づくりに努めた。また、手話奉仕員養成講座基礎課程を開催し、受講者は手話表現技術等を習得することができ、今後は聴覚障害者とのコミュニケーションなど地域で助け合いのできる人材を育成することができた。さらに、施設や学校からのボランティア要請に対し、ボランティア団体等を派遣するコーディネート役も果たした。

一方、南海トラフ地震等の大規模災害発生時に必要な社協職員の初期行動計画の修正や勉強会ができず、備えの対策が急務な中、4年前に実施した東日本大震災被災地訪問事業に参加した学生と振り返り学習会を行い、当時の思いや今後の課題など真剣に話し合いながら取り組むことができた。

- ・傾聴ボランティア・・・施設訪問3回 訪問者延26名 ・勉強会3回 参加者延24名 ・勉強交流会(佐川町) H28/10/26 参加者5名
- ・手話奉仕員養成講座(基礎課程)・・・H28/5/12～11/10 受講者数22名のうち修了者17名
- ・初期行動事業別勉強会・・・1回



①地域福祉の推進とボランティア活動の充実

福祉教育の推進(共同募金事業サービス区分)

《職員兼務1名》

《 共同募金配分金 230,000円 会費収入 20,000円 決算額 250,000円 》

市内の小・中学校の児童生徒に、ボランティア活動等の意義や福祉への理解を高め、児童生徒を通じて家庭及び地域社会の啓発を図ることに努めた。また、市内の各学校からの依頼に基づき各種体験学習を行っているが、依頼数が微増し福祉教育に携わる機会が多くなった。

さらに、学校と地域との結びつきの深い事業に対し、助成交付要綱に基づき5校への事業助成を行うとともに事業見学も実施し、児童生徒、また教職員との交流を深めることができた。

平成28年度 福祉活動推進校(5校)

中村中・八東中・利岡小・中筋小・下田小

学校名	体験学習等				人数	備考
	実施日	内容	学年	人数		
中村小学校	H28.6.2	高齢者疑似・車椅子体験	5年	45名		
県立中村中学校	H28.6.7	高齢者疑似体験	2年	35名		
	H28.6.14			34名		
具同小学校	H28.6.20	高齢者疑似・車椅子体験	4年	63名		
中筋小学校	H28.6.21	手話学習	1～6年	35名		
竹島小学校	H28.6.27	高齢者疑似・車椅子体験	4年	11名		
西土佐中学校	H29.6.13	高齢者疑似・車椅子体験	1年	20名		
利岡小学校	H28.10.6	車椅子・アイマスク体験	3～4年	8名		
藤岡中学校	H28.10.12	高齢者疑似・車椅子体験	1年	3名		
下田小学校	H28.11.22	高齢者疑似体験	3年	10名		
八東中学校	H28.11.28	高齢者疑似体験	3年	11名		
中村南小学校	H28.12.6	車椅子・アイマスク体験	3年	18名		
	H28.12.7			20名		
八東小学校	H28.12.8	高齢者疑似・車椅子体験	5年	6名		
具同小学校	H28.12.10	手話学習	4年	65名	参観日	
中村南小学校	H29.1.12	手話学習	3年	39名		
中筋中学校	H29.1.12	高齢者疑似体験	1年	3名		
後川中学校	H29.1.27	高齢者疑似体験	1年	4名		
竹島小学校	H29.2.21	介助・介護の仕方	4年	10名		
東山小学校	H29.2.23	高齢者疑似・車椅子体験	4年	32名		
八東中学校	H29.2.28	アイマスク体験	3年	56名		
合計	H29.3.17	高齢者疑似体験	1年	7名		
				535名		

②総合的な相談・援助活動及び権利擁護の推進

福祉サービス利用援助事業（福祉サービス利用援助事業サービス区分）

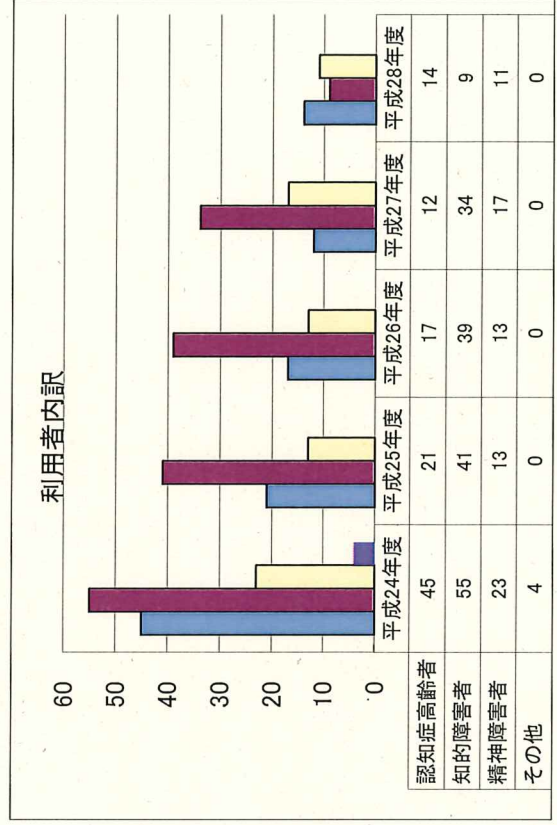
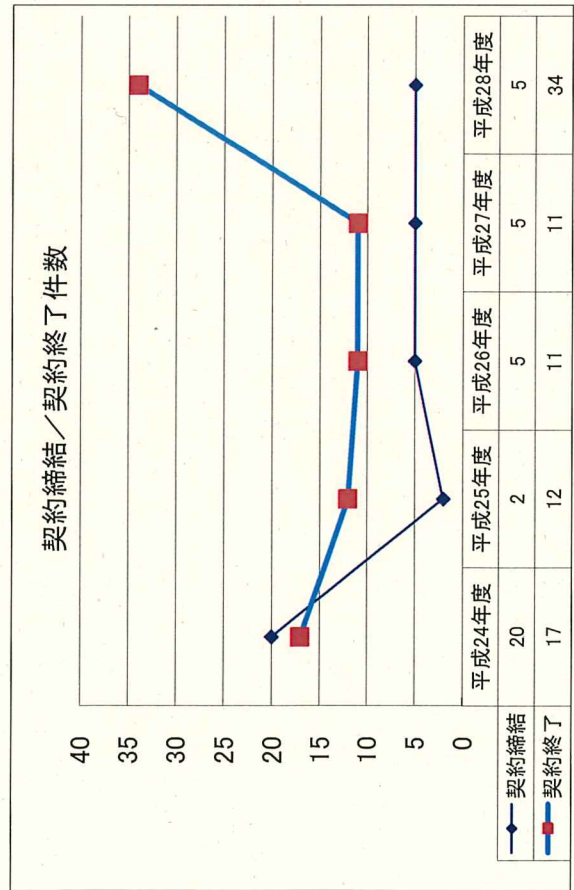
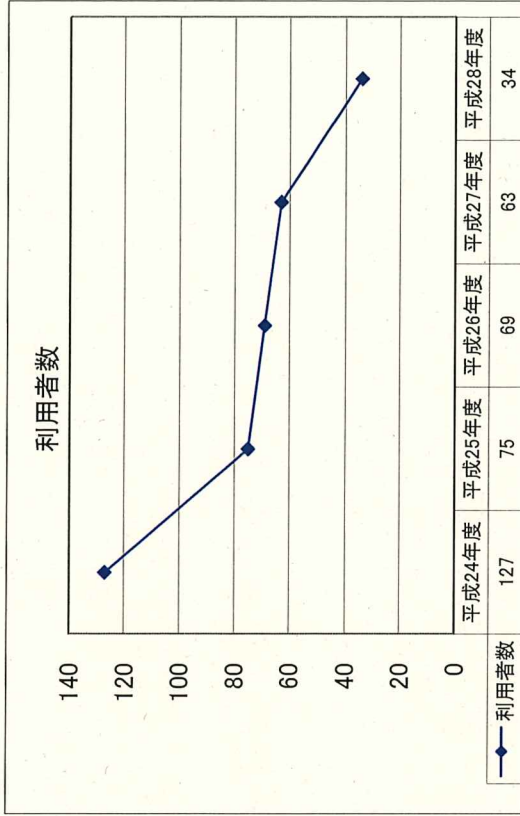
〈職員1名〉

《 県社協受託金 3,011,250円 利用料 234,250円 市補助金収入826,000円 その他の収入 853,406円 決算額 4,924,906円 》

認知症や知的障害・精神障害等により判断能力が不十分な人に対して、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理を行い、地域で自立し、安心して暮らせるよう専門員1名、生活支援員8名の体制で利用者の支援を行ってきた。

契約終了者が34名と多く、そのうち26人が証書等の預りのみの利用者である。

- ・新規契約件数 5名
- ・契約終了者数 34名
- ・年度末利用者数 34名



②総合的な相談・援助活動及び権利擁護の推進

法人後見事業（福祉サービス利用援助事業サービス区分）

〈職員3名兼務〉

《 後見報酬収入 835,320 円 》

認知症・知的障害・精神障害等、意思決定が困難な人の判断能力を補うため、成年後見人、保佐人又は補助人になることにより、その人の財産管理や身上監護を行い、その人の権利を擁護することを目的に支援を行った。

今年度は、新たに1名の方を受任し支援回数等は大幅に増えた。29年度は1名の職員が兼務で担当する。

- ・新規契約件数 1名
- ・契約終了者数 0名
- ・年度末利用者数 5名

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
問合せ件数	3	4	13	10
支援回数	10	28	144	229
新規契約数	1	3	3	1
契約終了	1	0	2	0
延べ利用者数	4	14	28	60
実利用者数	1	2	6	5

	受任時年齢	類型	障害等	審判到達日	申立人	現在の状況等	利用経緯等	備考
25年度	87歳	後見	認知症	H25.6.14	高知市長	施設⇒病院	地域包括	H25/9/29死亡
	88歳	後見	認知症	H26.5.26	四万十市長	施設	地域包括	
26年度	86歳	後見	認知症	H26.11.21	配偶者	施設⇒病院	家庭裁判所	H27/4/14死亡
	82歳	後見	認知症	H27.3.11	四万十市長	病院	地域包括	H27/6/14死亡
27年度	86歳	後見	認知症	H27.7.27	甥	在宅	家庭裁判所	
	91歳	後見	認知症	H27.12.25	四万十市長	施設	地域包括(福祉サービス利用者)	
28年度	64歳	後見	知的障害	H27.12.25	四万十市長	施設	地域包括(福祉サービス利用者)	
	84歳	後見	認知症	H28.12.15	四万十市長	施設	地域包括(福祉サービス利用者)	

②総合的な相談・援助活動及び権利擁護の推進

ふれあい相談センター事業（共同募金事業サービス区分）

《 会費収入 189,000円 共同募金配分金 200,000円 決算額 389,000円 》

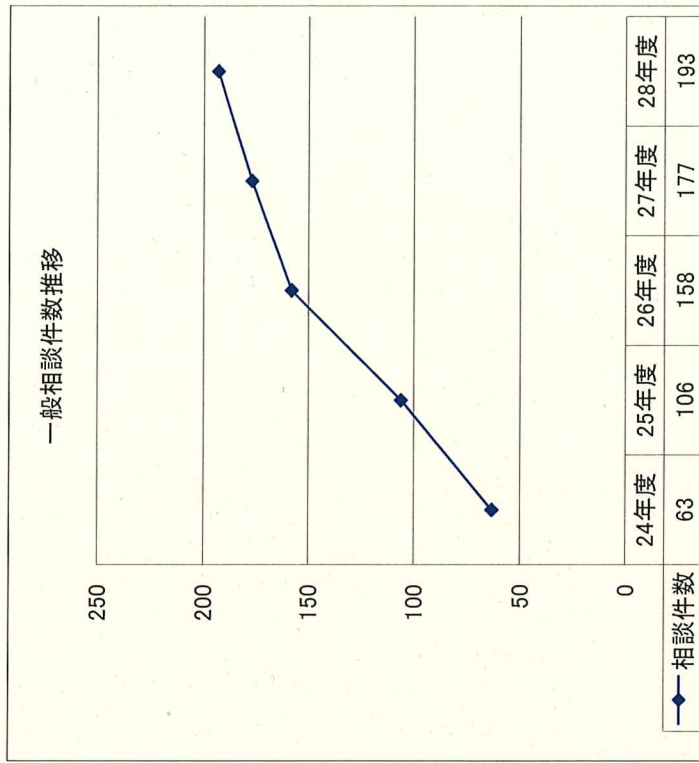
一般相談	毎週 月～金曜日	午前8時30分～午後5時15分	(四万十市社会福祉センター 本所)
法律相談	月/2回 第1・3月曜日	午後1時30分～午後3時30分	(四万十市社会福祉センター 本所)
支所相談	毎週 月～金曜日	午前8時30分～午後5時15分	(四万十市総合福祉センター 支所)

来所や電話による相談を基本に、必要に応じ訪問で対応し実施した。今年度は特に金銭問題等の相談が多かった。生活問題、家族問題等が上位を占めた。

項目別一般相談件数推移

	24年度			25年度			26年度			27年度		
	1	生活問題	23	1	生活問題	23	1	老人福祉問題	36	1	老人福祉問題	26
2	家族問題	18	2	精神・衛生問題	17	2	生活問題	25	2	生活問題	24	
3	精神・衛生問題	15	3	金銭問題	12	3	健康・衛生問題	16	3	金銭問題	24	

28年度		
1	金銭問題	51
2	生活問題	37
3	家族・結婚・離婚問題	14



* 法律相談 件数 68 件 (2名の弁護士が対応)

②総合的な相談・援助活動及び権利擁護の推進

小口生活資金貸付事業(貸付事業サービス区分)

低所得者等に対し、短期の生活資金の貸付と相談援助を行うことにより、生活の安定を図ることができるよう努めた。
長期滞納者に対して償還指導等を行い、延滞利息を可能な範囲で償還してもらうこととなった。前年度よりも生活困窮者が増加傾向にあり、生活保護の繋ぎとしてほとんどのケースを生活福祉資金の緊急小口制度で対応した。

※ 資産の状況 (平成29年3月31日)

・預金残高 6,777,413円

※ 小口貸付等の状況

・相談件数 25件
・貸付額 505,000円(6件)
・貸付残額 330,000円
・償還終了件数 4件

※ 特別小口貸付等の状況

・相談件数 4件
・貸付額 20,000円(4件)
・貸付残額 5,000円
・償還終了件数 3件

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	前年度比 H28年-H27年
貸付件数	3	3	5	3	6	3
貸付額	250,000	300,000	490,000	230,000	505,000	275,000

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	前年度比 H28年-H27年
償還完了件数	3	2	6	4	4	0
償還額	284,000	230,000	339,000	439,649	373,000	-66,649
内延滞利子	21,000	26,000	5,000	7,649	18,000	10,351

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	前年度比 H28年-H27年
年度末貸付件数	5	6	5	4	6	2
貸付残額(元金)①	130,000	226,000	382,000	180,000	330,000	150,000
延滞利子②	288,594	292,324	139,895	135,911	117,911	-18,000
年度末残額①+②	418,594	518,324	521,895	315,911	447,911	132,000

生活福祉資金貸付事業(貸付事業サービス区分)

《 県社協受託事業決算額 847,000円 》

低所得者等に対し資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより経済的自立、生活意欲の助長促進並びに社会参加の促進を図り安定した生活を送れるようにすることを目的としている。

前年度より、相談・問合せ件数・申請件数ともに増加した。

【平成28年度貸付等の状況】

* 問合せ・相談件数 621件
* 申請件数.....26件(合計 6,383,000円)
* 貸付件数.....24件(合計 6,323,000円)

(内訳)

福祉費 9件 5,559,000円
緊急小口資金 17件 824,000円

フードバンク事業

生活に困窮し日々食に困る人々を対象に、市民の方々より食料品の寄付やフードバンク高知・セカンドハーベストジャパンより食料品を無償で提供を受け、日々食に困る人々へ提供する事業を行っている。今年度は市民の方々より、沢山のお米の提供を受けた。

市民やフードバンク高知等から提供を受けた食料

・重量換算で年間 916.3キログラム

・提供した世帯(人数)年間 77世帯(119名)

②総合的な相談・援助活動及び権利擁護の推進

福祉人材バンク事業（福祉人材バンク事業サービス区分）

〈職員1名兼務〉

《県社協受託金 3,865,000円 市補助金収入 2,402,000円 他サービス区分繰入金 343,000円他 決算額 6,973,320円》

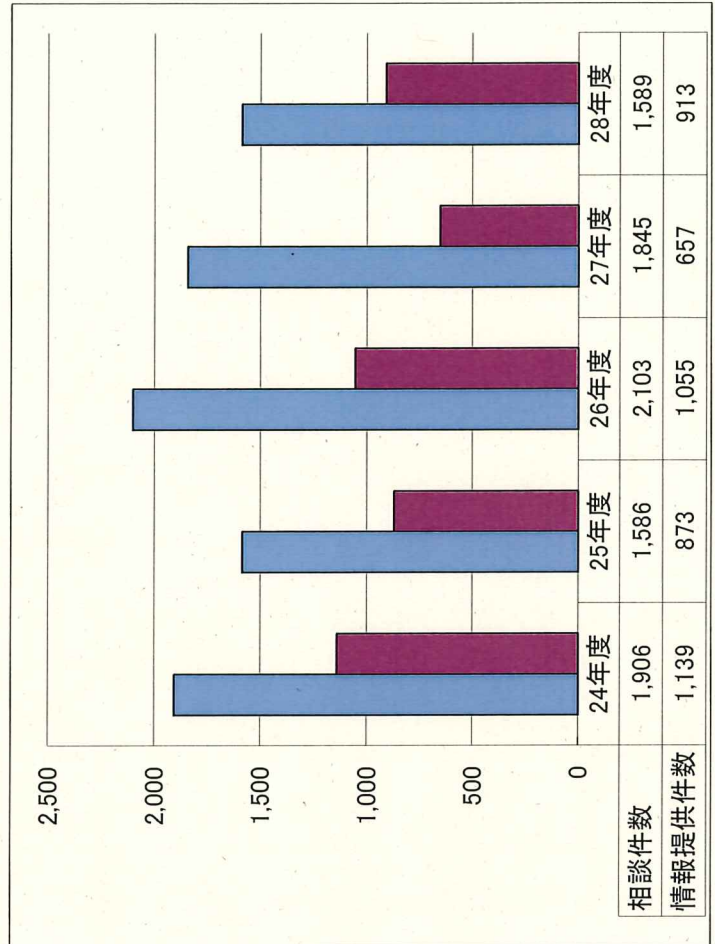
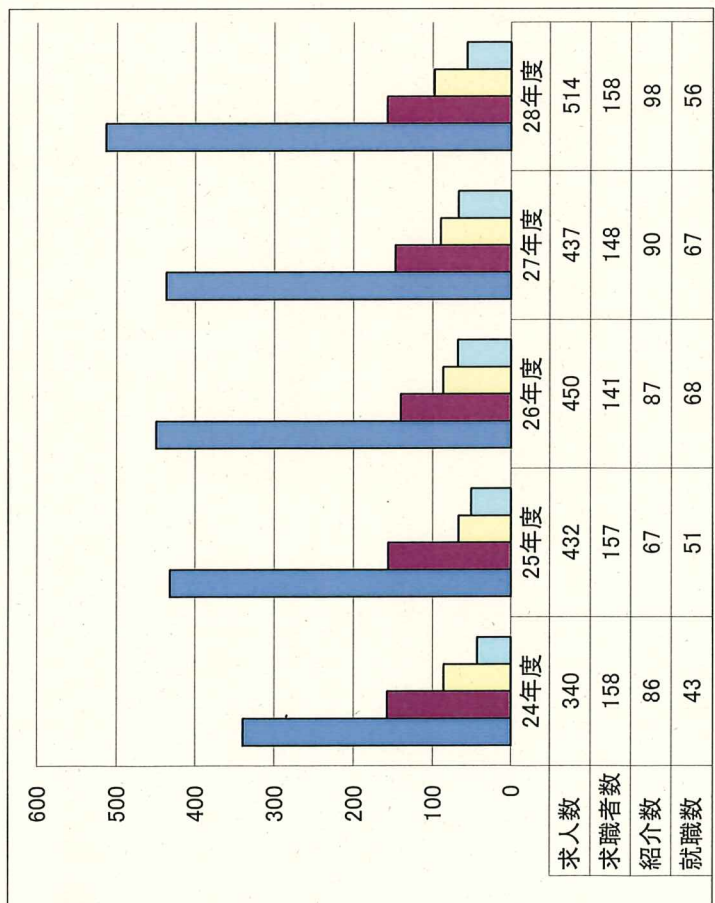
幡多6市町村に加えて平成28年9月からしまんと町を管轄区域として、求職登録者が希望する求人に応じて福祉・介護の職場へと繋いだ。平日常時窓口での相談受付と、毎月第4日曜日に日曜日相談も開催し登録者の確保と求人情報の提供を行った。今年はいくく就職フェアin幡多を実施し、芸能人を呼び広報活動でテレビ等で大々的に行ったが、来場者は少なく人材確保には厳しい状況だった。また、毎年開催している「かるぼーと」での就職フェアへも主催者として参加した。また、福祉人材養成事業としてスキルアップを目的に資格取得支援として介護福祉士と介護支援専門員の模擬試験を開催した。介護福祉士の国家試験受験については実務研修受講が必須となり、資格取得方法の相談や問い合わせには講習先の情報等の提供を行った。

今後、少子高齢化の進行と団塊の世代の方が定年退職する中で、介護・福祉人材の確保は緊急の課題であり、今後さらに福祉・介護の新規求職登録者の確保と潜在有資格者の掘り起こしに取り組む、また、現在働いている介護職員の離職を防ぐことが一番の人材確保であるため、施設訪問等でフォローし定着を図りたい。

【福祉人材養成事業】介護福祉士模擬試験開催 1回 14名受験 介護支援専門員模擬試験開催 1回 13名受験

【啓発広報事業】社協だより掲載（3市） 行政広報掲載（2市1町）

【日曜相談】12回 参加者 15名 【運営委員会開催】1回



②総合的な相談・援助活動及び権利擁護の推進

福祉・介護人材マッチング機能強化事業（福祉人材バンク事業サービス区分）〈職員1名兼務〉

《県社協受託金 2,712,000円 市補助金 3,417,000円 市受託金400,000円他 決算額 6,589,198円 》

幡多人材バンクにおけるマッチング機能の強化及び施設・事業所における職員の定着促進を目的として、求職者への支援や施設・事業所への助言が行える者を専門員として配置し、対象者に応じた細やかなマッチングの実施や就職後のフォローアップ、働きやすい職場づくりへの指導・支援等を行った。また、県人材センターと共催で四万十市で就職フェアを開催し、70人の参加があり、2人が就職につながった。

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備考
施設訪問件数(件)	65	136	393	121	
訪問日数(日)	17	78	88	33	
ハローワークセミナー開催(回)	11	12	12	12	月/1回
延参加者(人)	2	115	123	73	
福祉職場体験者(人)	3	11	7	6	就職者2名

③在宅サービスの充実

高齢者はつらつサービス事業

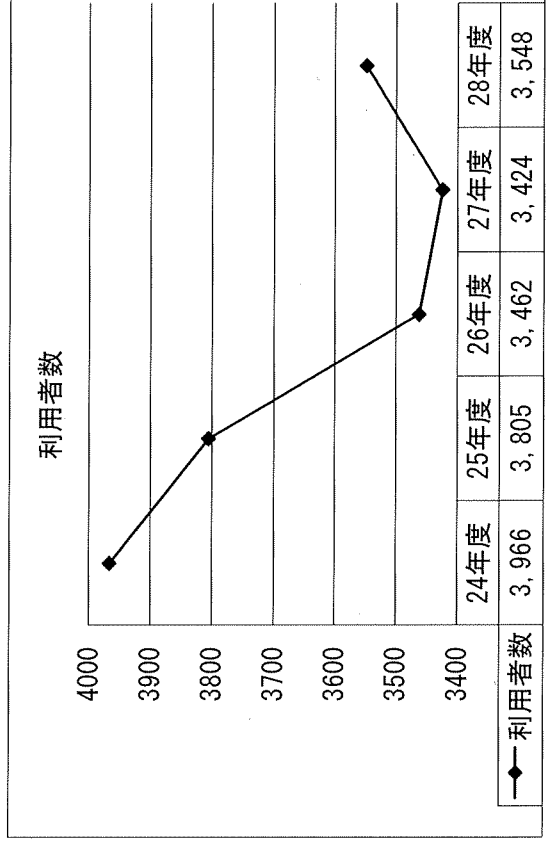
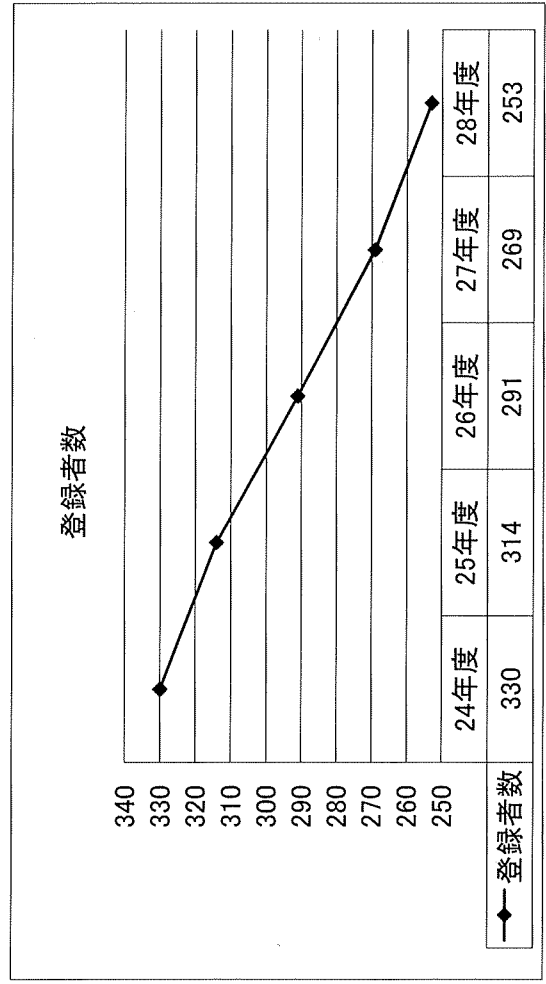
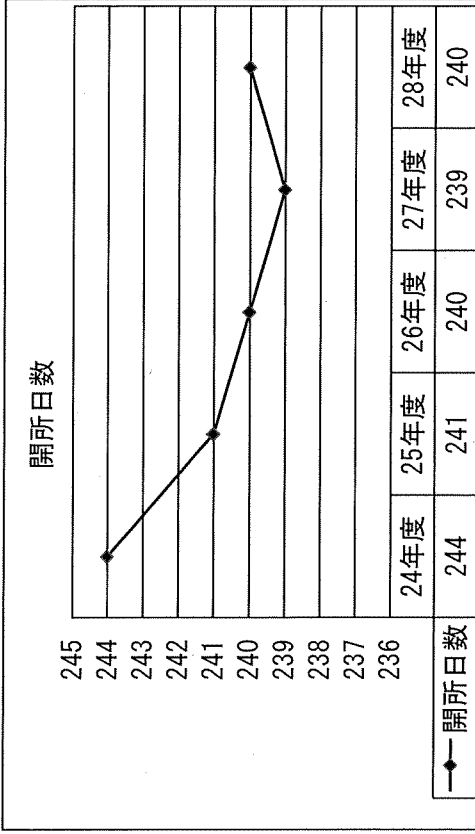
(はつらつサービス事業サービス区分

〈職員1名 臨時3名〉

《市受託金 11,495,520円 市補助金 4,427,000円 利用料 2,020,200円 雑収入 7,861円他 決算額 19,058,604円》

介護保険非該当の利用者(75歳以上の高齢者又は65歳以上の独居高齢者)に対し、健康チエックや創作活動、レクリエーション、日常必需品の買出などのサービスを提供し、高齢者が楽しく生きがいをもてるよう事業を実施した。本年度は、介護保険で認定を受け介護保険サービスに移行する人が多く、また、班編成を行い現在13班にした関係で、登録者数が減少した。

小学生との交流会では、児童が利用者の似顔絵を描いて一人一人にプレゼントしたり、昔の遊びを利用者から習い一緒に遊び大変喜んでいった。筋力アップ体操や口腔体操でも、自らが積極的に行っており、体力測定は、今年も2回実施して年齢と測定数値を比べてどの部分が弱っているかを理解してもらった。



③在宅サービスの充実

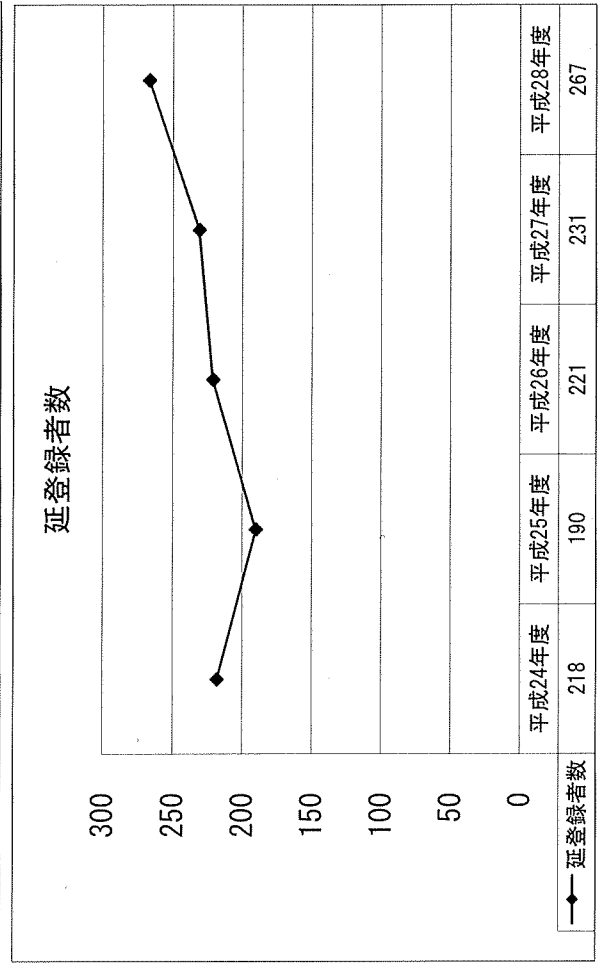
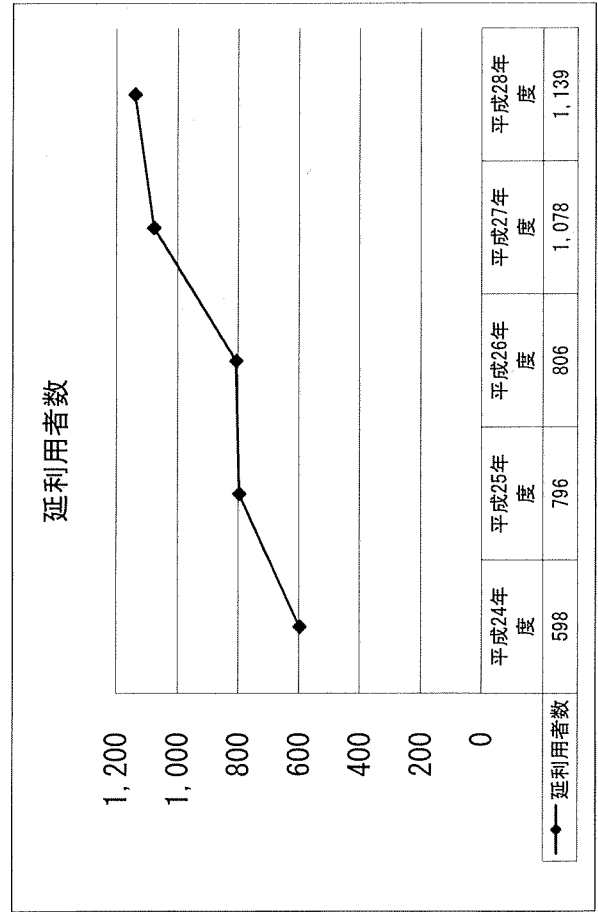
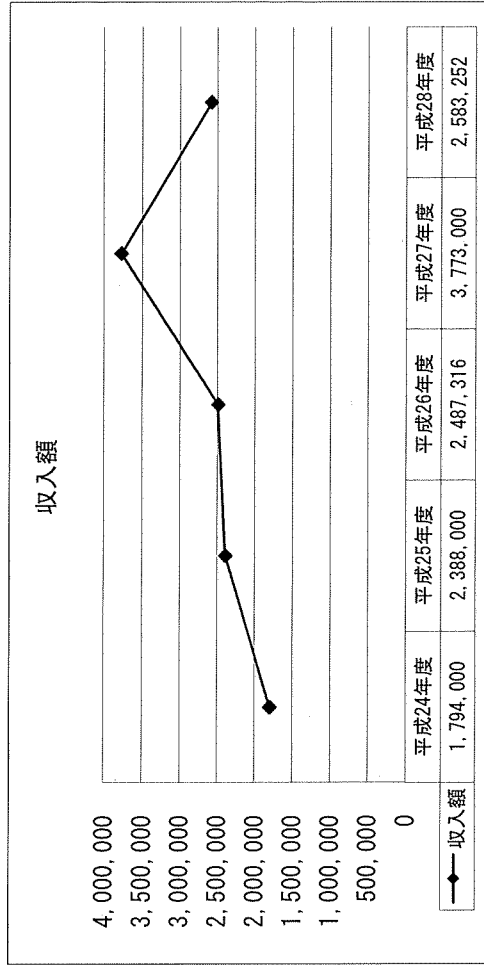
高齢者筋力アップ教室事業（介護保険事業サービス区分）

〈他業務と兼務 職員1名 パート2名〉

《 市受託金決算額 2,583,252円 》

65歳以上の高齢者を対象に介護予防を目的とした筋力運動教室を実施。四万十市11地区を対象に、週2回（月・木）の2組に分かれ延144回実施した。前年度に比べ延べ利用者数は増えたものの、一人当たりの受託単価が下がったため減収となった。対象高齢者への普及啓発が難しいことから、この事業は平成28年度をもって終了となる。

平成29年度5月より、介護予防を目的として新たな取り組みとして、一条の里のまちなかサロンの事業内で筋力アップ事業を実施する予定である。



③在宅サービスの充実

訪問入浴事業(介護保険事業サービス区分)

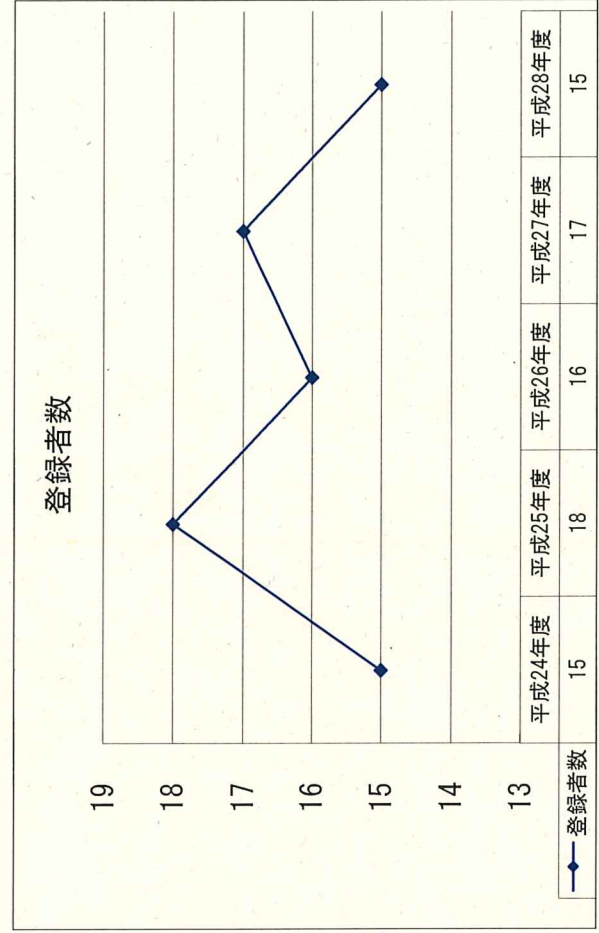
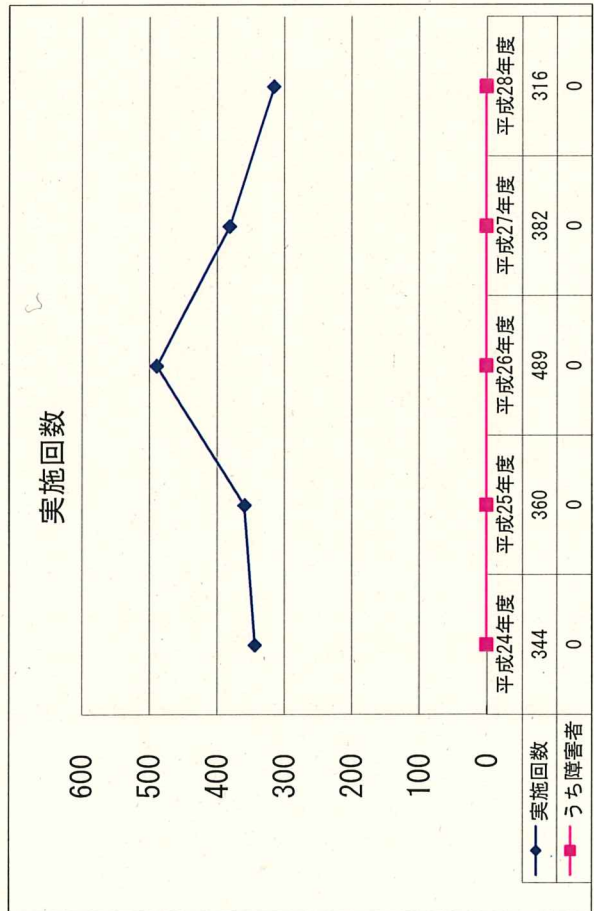
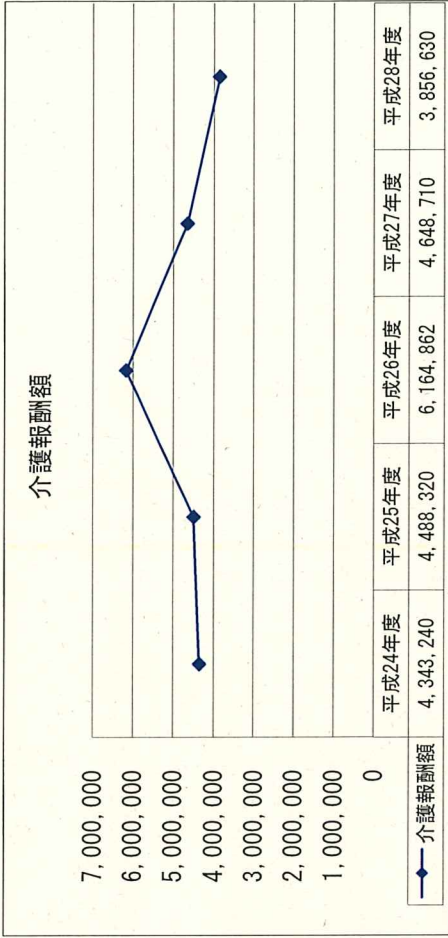
〈職員1名 パート2名〉

《介護保険事業収入 3,856,630 円 市補助金 349,000円 高齢者筋力アップ教室事業受託金 2,583,252円 サービス区分間繰入他 決算額 9,047,127 円》

介護認定を受けた寝たきりの方等に対し、自宅のベットの横に浴槽を設置し、安心安全を心がけながら、入浴サービスを提供し、利用者のみだけでなく、介護されている家族の方々へのメンタル面での配慮等、介護負担が軽減するようなコミュニケーションやサービスの提供に努めた。

登録者は、前年度と比較しほぼ同じであるが、入浴回数が大きく減少したため減収となった。

3月末現在の入浴利用者は5名、次年度は火・金曜日週2日のみ稼働として



③在宅サービスの充実

訪問調査事業(介護保険事業サービス区分)

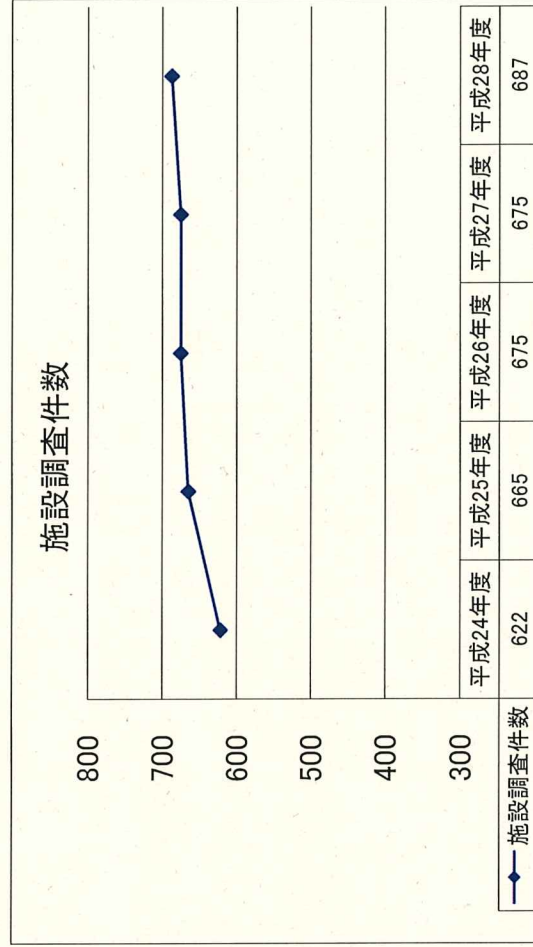
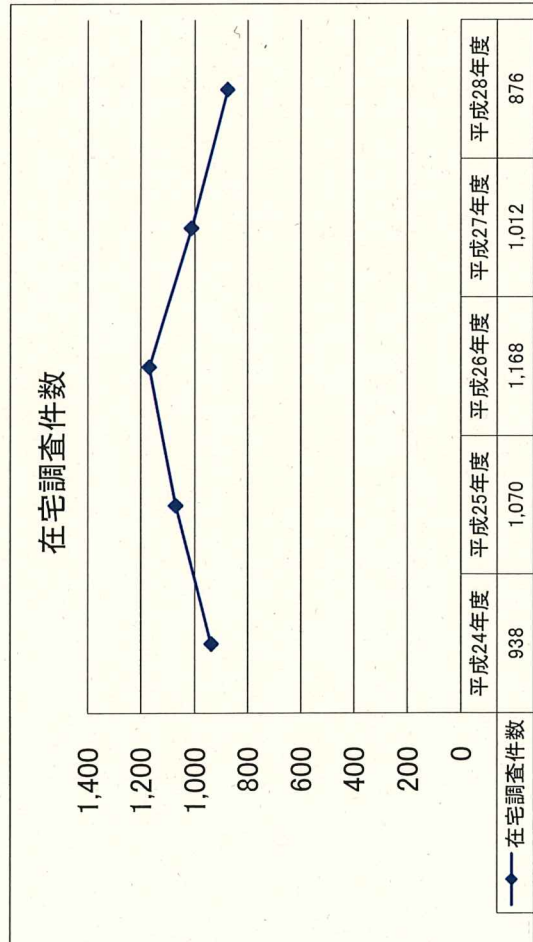
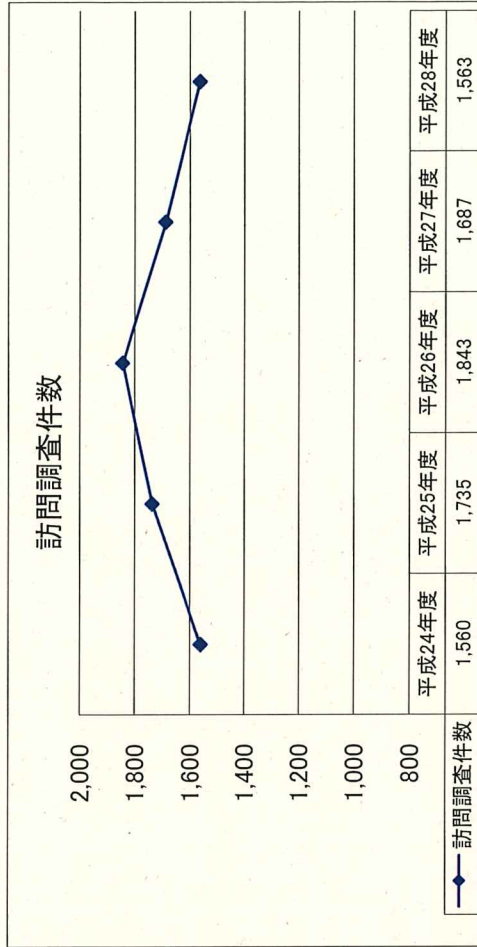
〈職員2名⇒職員1名・臨時1名〉

《市受託金収入 8,440,200円 他市町村調査受託金収入 30,240円 市補助金 4,287,932円 決算額 12,789,809円》

市からの委託により、「能力」「介助の方法」「障害や現象(行動)」といった内容を、全国一律の基準に基づき、公正・適正な訪問による聞き取り調査を実施した。

新規と認定期間中の区分変更については、原則市が調査を実施することになっているが、本年度については、新規を30件、区分変更を128件行った。1月に入り、職員体制が変わった事で、新規・区分変更調査の依頼を市に検討して頂き、2月、3月は更新のみの調査を行う。その為、昨年度より92件の減となっている。

また、他市町村からの依頼による調査も9件実施した。



③在宅サービスの充実

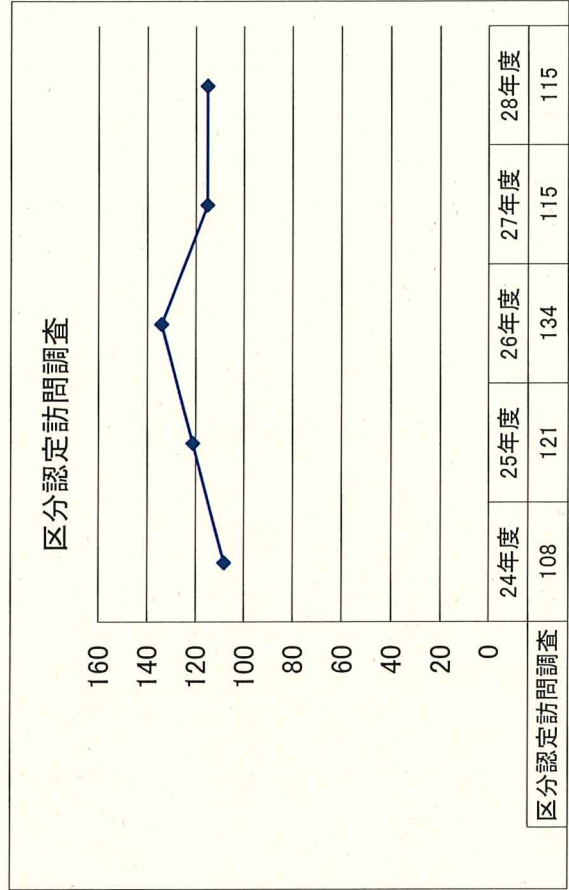
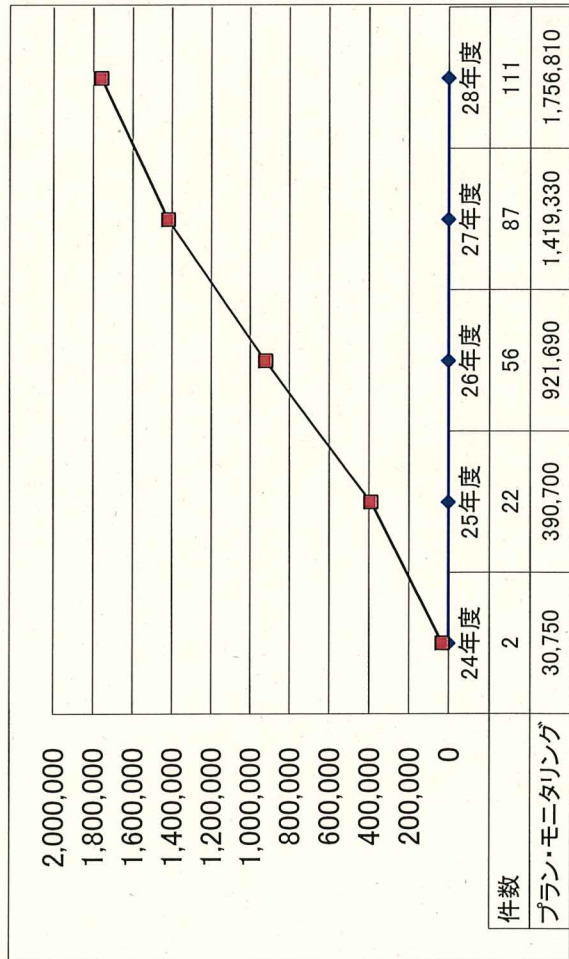
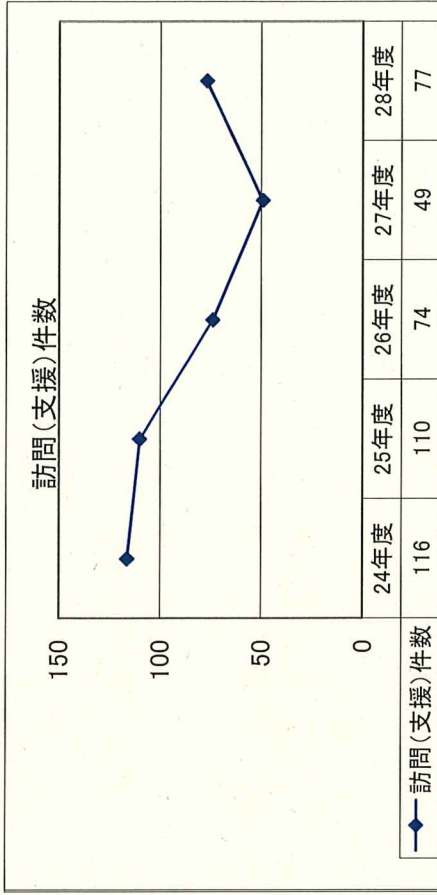
障害者支援センター事業(障害福祉事業サービス区分)

〈職員1名〉

《市受託金4,892,037円 障害程度区分認定調査 621,000円 サービス計画報酬 1,793,870円 決算額 7,306,907円》

支援センター業務として、在宅の身体、知的、精神障害者宅の訪問や電話での生活相談に応じ、関係機関につなぐ等の連絡調整や支援困難ケースにおいても直接的支援を実施する。また、市の委託を受けて障害支援区分認定調査も依頼通り実施している。
 加えて、相談支援事業所として、サービス等利用計画についての相談及び作成を行っている。

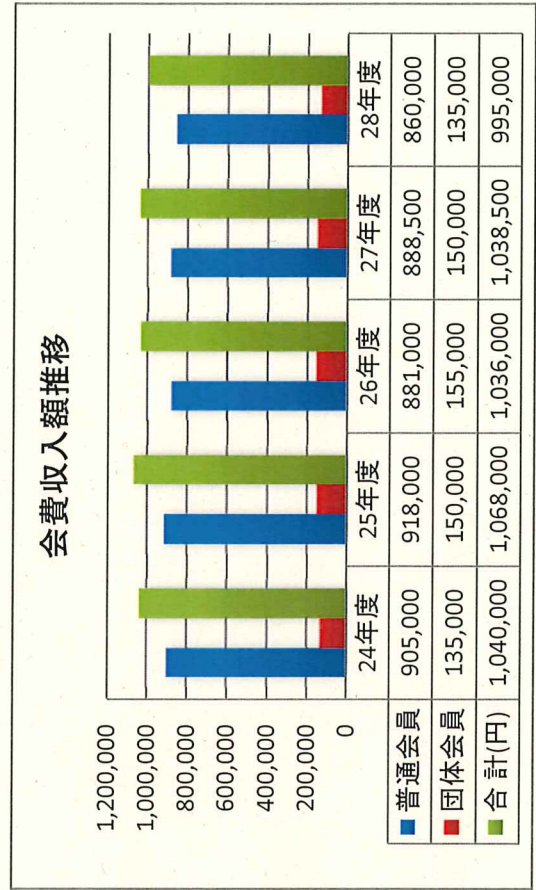
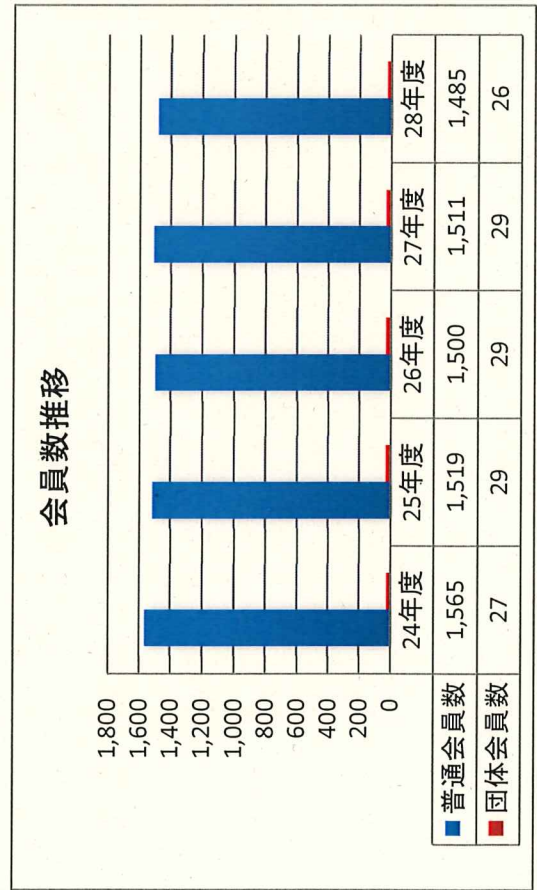
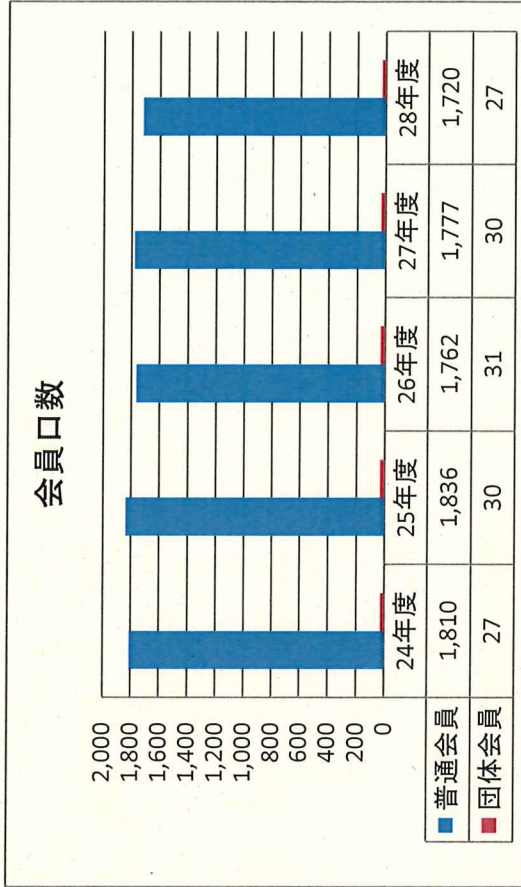
- ・平成28年度相談支援事業所新規契約者10名
- ・介護保険移行・転出・死亡にて中止 3名
- ・サービス利用休止1名
- ・平成28年3月末、実質利用者52名



④地域福祉活動計画の策定と組織の基盤整備
社協会員加入状況(法人運営サービス区分)

《 会費収入額 995,000円 》

民生委員をはじめボランティアや関係機関等へ協力を依頼し、また広報誌による呼びかけ等を行い会員の加入促進を行った。
結果として前年度より、普通・団体会員数、合計金額とも下回った。



④地域福祉活動計画の策定と組織の基盤整備

法人運営(法人運営サービス区分)

《市補助金収入 1,401,777円 決算額 1,401,777円》

事業経営方針及び予算に基づき、必要に応じて会議を開催した。社会福祉法の改正に伴い定款を改正した他、新たに評議員選任委員会を開催して、平成29年度に向けての評議員の選任を行った。また、職員の内訓研修では、県社協より講師を招き研修会を行った。第2期の四万十地域福祉活動計画の評価検討委員会は、職員体制等の関係で実施に至らなかった。
※以下が主な会議の状況である。

月日	会議内容等	場所
27	【第1回理事会】理事9名・監事1名・事務局5名 計15名 議案 ①平成27年度事業報告並びに法人会計(社会福祉事業・公益事業)決算について 報告事項 ①職員採用試験の結果及びそれに伴う人事異動について ②各種積立金等について	福祉センター
5	【第1回評議員会】評議員18名・理事2名・監事1名・事務局2名 計23名 議案 ①平成27年度事業報告並びに法人会計(社会福祉事業・公益事業)決算について 報告事項 ①職員採用試験の結果及びそれに伴う人事異動について	"
16	【第2回理事会】理事8名・監事1名・事務局5名 計14名 議案 ①平成28年度法人拠点区分第1次補正予算について ②定款の改正について ③定款施行細則の一部改正について ④評議員選任・解任委員会運営細則について ⑤育児・介護休業等に関する規程の一部改正について 報告事項 ①職員採用試験の結果について ②職員の給与等に関する規程の一部改正について	"
12	【第2回評議員会】評議員16名・理事2名・事務局2名 計20名 議案 ①平成28年度法人拠点区分第1次補正予算について ②定款の改正について ③定款施行細則の一部改正について 報告事項 ①職員採用試験の結果について	"
2	【第3回理事会】理事8名・事務局3名 計11名 議案 ①評議員選任・解任委員会委員の選任について ②評議員候補者の推薦について	"
2	【第1回評議員選任解任委員会】委員3名・理事1名・事務局1名 計5名 ①新評議員の選出について	"
2	職員研修 17:00~19:00 13名参加 「社協職員として最低限知っておかなければならないこと」 講師: 高知県社会福祉協議会 地域・支援課 鈴木チーフ	"

月日	会議内容等	場所
28	【第4回理事会】理事8名・監事2名・事務局6名 計16名 議案 ①平成28年度第2次補正予算について ②平成29年度事業経営方針及び法人会計予算について ③役員等報酬規程の名称等の一部改正について ④委員会設置規程の一部改正について ⑤職員規程の一部改正について ⑥給与等に関する規程の一部改正について ⑦経理規程の一部改正について ⑧事務局規程の一部改正について ⑨会長専決規程の一部改正について ⑩情報公開規程の一部改正について ⑪事務局長の任免並びに権限に関する規程の廃止について 報告事項 ①実習生等受入規程の制定について ②職員の昇給時の給与給付位置づけの誤りについて ③職員の人事異動について	福祉センター
3	【第3回評議員会】評議員13名・理事2名・事務局2名 計17名 議案 ①平成28年度第2次補正予算について ②平成29年度事業経営方針及び法人会計予算について ③役員等報酬規程の名称等の一部改正について ④委員会設置規程の一部改正について ⑤職員規程の一部改正について 報告事項 ①職員の昇給時の給与給付位置づけの誤りについて ②職員の人事異動について	"

④地域福祉活動計画の策定と組織の基盤整備
 指定管理者施設運営事業(指定管理者施設サービス区分)

平成28年度 多目的デイケアセンター「一条の里」

《 市受託金収入(指定管理料)決算額 1,748,000円 》

多目的デイケアセンター「一条の里」で行っている事業については、次のとおりで各実績については前述のとおりです。

- ① 配食サービス事業
- ② 要介護認定訪問調査事業
- ③ はつらつデイサービス事業
- ④ 障害者支援センター事業(相談支援事業)

平成28年度 四万十市総合福祉センター

《 市受託金収入(指定管理料)決算額 802,794円 》

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
会議研修室	10	5	8	11	5	9	6	7	9	6	7	8	91
福祉関係事務室													0
応接室・相談室	3	2	5	3	2	3		4	0				22
休憩室	1						2		2	1		1	7
合計	14	7	13	14	7	12	8	11	11	7	7	9	120

平成28年度 社会福祉センター利用状況

月	大会議室			小会議室			老人憩いの室			研修室I			研修室II			小計			利用 合計	開 館 日	貸 出 可 能 数	利用割合				H27年度利用割合				空 室 割 合	空 室 割 合								
	普通	減額	免除	普通	減額	免除	普通	減額	免除	普通	減額	免除	普通	減額	免除	普通	減額	免除				普通	減額	免除	普通	減額	免除	普通	減額			免除	普通	減額	免除	普通	減額	免除	普通
4	1	1	10	0	11	2	14	5	15	0	1	2	6	1	13	1	2	0	11	3	35	4	49	11	99	30	450	7.8%	0.9%	10.9%	2.4%	22.0%	78.0%	9.6%	1.3%	10.4%	2.2%	23.6%	76.4%
5	4	1	5	0	15	0	8	1	19	0	0	8	2	6	2	1	1	7	1	47	4	26	4	81	31	465	10.1%	0.9%	5.6%	0.9%	17.4%	82.6%	8.0%	0.9%	3.9%	3.0%	15.7%	84.3%	
6	9	0	9	0	15	1	6	3	18	0	2	0	5	0	7	1	9	1	4	8	56	2	28	12	98	30	450	12.4%	0.4%	6.2%	2.7%	21.6%	78.2%	10.7%	0.2%	4.2%	2.7%	17.8%	82.2%
7	4	0	10	1	14	0	9	4	19	0	1	0	7	1	7	2	2	0	3	14	46	1	30	21	98	31	465	9.9%	0.2%	6.5%	4.5%	21.1%	78.9%	8.8%	1.7%	4.9%	3.9%	19.4%	80.6%
8	4	4	5	1	19	0	4	1	18	2	0	1	3	0	12	1	4	0	2	8	48	6	23	12	89	31	465	10.3%	1.3%	4.9%	2.6%	19.1%	80.9%	8.8%	4.5%	5.2%	0.9%	19.4%	80.6%
9	5	0	5	0	14	0	5	2	17	0	1	0	5	0	6	4	2	1	4	4	43	1	21	10	75	30	450	9.6%	0.2%	4.7%	2.2%	16.7%	83.3%	7.3%	0.4%	4.9%	5.3%	18.0%	82.0%
10	8	10	13	1	15	2	11	1	22	10	1	9	5	8	10	4	5	8	4	5	55	38	39	20	152	31	465	11.8%	8.2%	8.4%	4.3%	32.7%	67.3%	9.2%	8.8%	9.2%	3.7%	31.0%	69.0%
11	12	8	3	9	13	1	8	8	19	0	1	0	15	4	5	7	0	2	8	18	59	15	25	42	141	30	450	13.1%	3.3%	5.6%	9.3%	31.3%	68.7%	14.2%	3.1%	9.8%	3.3%	30.4%	69.6%
12	2	0	16	0	11	0	10	3	16	3	0	4	5	0	8	11	5	0	3	3	39	3	37	21	100	28	420	9.3%	0.7%	8.8%	5.0%	23.8%	76.2%	10.5%	3.8%	6.0%	2.9%	23.1%	76.9%
1	3	0	2	0	16	2	4	4	13	0	1	10	3	2	8	6	8	2	4	3	43	6	19	23	91	28	420	10.2%	1.4%	4.5%	5.5%	21.7%	78.3%	12.6%	2.9%	7.1%	2.9%	25.5%	74.5%
2	9	4	5	5	17	0	7	4	15	0	0	0	5	3	7	7	4	3	6	6	50	10	25	22	107	28	420	11.9%	2.4%	6.0%	5.2%	25.5%	74.5%	9.8%	1.9%	5.7%	6.9%	24.3%	75.7%
3	4	0	2	1	21	0	6	2	17	0	0	0	1	0	9	2	2	0	4	2	45	0	21	7	73	31	465	9.7%	0.0%	4.5%	1.5%	15.7%	84.3%	7.3%	0.9%	9.7%	3.7%	21.5%	78.5%
合計	65	28	85	18	181	8	92	38	208	15	8	26	68	21	98	48	44	18	60	75	566	90	343	205	1,204	359	5,385	10.5%	1.7%	6.4%	3.8%	22.4%	77.6%	9.7%	2.5%	6.8%	3.4%	22.4%	77.6%

普通 14.0% 2.2% 8.5% 5.1% 29.9%

減額 0

普通 教育、福祉関係の会議、組合会議、サークル活動(体操、踊り)、法律・就職相談、宗教団体、政治団体、観光協会、ダム協議会

減額 市内の福祉団体、県社会福祉協議会、県聴覚障害者協会、介護福祉士会、社会福祉士会

免除 市・市教委・市教育研究所等

ボランティア、福祉関係サークル、行政相談

朗読の会虹

会議(社協・民協・役員会・職員会議・老人クラブ・四万十市身障連)

事業(人材バンク・共募・手話養成・推進校・運動会・日赤)

ボランティア勉強会・法律相談・行政相談・災害ボランティア情報交換会

普通 学校説明会・入学試験・呉服販売・営業会議・健康セミナー・民間資格養成講座

平成28年度 社会福祉センター利用状況(免除)

月	大会議室			小会議室			老人憩いの室			研修室Ⅰ			研修室Ⅱ			小計			合計
	市	団体	社協	市	団体	社協	市	団体	社協	市	団体	社協	市	団体	社協	市	団体	社協	
4	2	0	8	2	4	8	0	0	1	3	4	6	2	0	9	9	8	32	49
5	0	0	5	1	3	4	0	0	0	1	3	2	0	0	7	2	6	18	26
6	2	0	7	1	3	2	0	0	2	0	6	1	0	0	4	3	9	16	28
7	4	0	6	3	3	3	0	0	1	2	3	2	0	1	2	9	7	14	30
8	0	0	5	1	0	3	0	0	0	0	8	4	0	0	2	1	8	14	23
9	0	0	5	1	0	4	0	0	1	0	4	2	0	3	1	1	7	13	21
10	2	0	11	3	3	5	0	0	1	3	5	2	0	0	4	8	8	23	39
11	0	0	3	1	3	4	0	1	0	0	3	2	0	0	8	1	7	17	25
12	3	3	10	4	0	6	0	0	0	2	3	3	0	0	3	9	6	22	37
1	0	0	2	1	0	3	0	0	1	0	6	2	0	0	4	1	6	12	19
2	1	0	4	1	3	3	0	0	0	0	4	3	0	0	6	2	7	16	25
3	0	0	2	1	3	2	0	0	0	0	5	4	0	0	4	1	8	12	21
合計	14	3	68	20	25	47	0	1	7	11	54	33	2	4	54	47	87	209	343

市、市教委等

朗読の会虹・中村手話サークルわかあゆ・四万十市精神障害者家族会虹の会

ボランティア連絡協議会

市、市教委等

会議(社協・民協・役員会・職員会議・西部三市・老人クラブ・身障連)

事業(人材バンク・共募・日赤・手話養成・傾聴ボラ養成・成年後見・運動会)

ボランティア勉強会・法律相談・ふれあい相談・福祉活動計画策定委員会・災害ボラ情報交換会・健康福祉委員会意見交換会

事業報告付属明細書

平成 29 年 3 月 31 日

(他の法人等の重要な兼職の状況)

四万十市社会福祉協議会

区 分	氏 名	兼職先	兼職の内容	関 係
理 事	武田 光司	特記すべき兼職はない		
〃	中平 貞行	特記すべき兼職はない		
〃	宮崎 嘉友	特記すべき兼職はない		
〃	浜田 隆文	特記すべき兼職はない		
〃	湯地 康夫	特記すべき兼職はない		
〃	谷 陽	特記すべき兼職はない		
〃	安田 沙知	特記すべき兼職はない		
〃	山沖美枝子	特記すべき兼職はない		
〃	横山恵美子	特記すべき兼職はない		
監 事	弘井 弘	特記すべき兼職はない		
〃	伊賀原年恵	特記すべき兼職はない		